



穴水より、



愛をこめて。

町を変えるのは、政治、メディア、それから…
『はりぼて』『裸のムラ』の五百旗頭幸男最新作は
真骨頂にして新境地

能登デモクラシー

監督: 五百旗頭幸男 | 撮影: 和田光弘 | 音声: 石倉信義 | 題字・美術: 高倉園美 | 編集・撮影: 西田豊和 | 音楽: 岩本圭介
テーマ音楽「穴水ラブソニー」 作曲: 岩本圭介 | 音楽プロデューサー: 矢崎裕行 | プロデューサー: 木下敦子 | 製作: 石川テレビ放送
配給: 東風 | 2025年 | 日本 | 101分 | DCP | ドキュメンタリー | ©石川テレビ放送 notodemocracy.jp



光の当たらない ところに 光を当てる



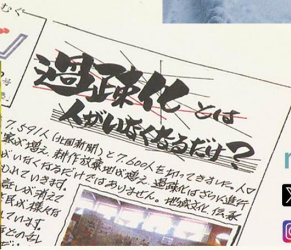
能登半島の中央に位置する石川県穴水町。過疎化が止まらず人口減少の最終段階に入っている。コンパクトシティを推進する町の中心部から悪路を進んだ限界集落に暮らす元・中学校教師の滝井元之さん。2020年から手書きの新聞「紡ぐ」を発行し、利益誘導型の政策や町の未来に警鐘を鳴らし続けている。穏やかな穴水湾をのぞむこの町の伝統漁法「ボラ待ちやぐら」。我慢強さは町民性ともいえるが、滝井さんはこう記す「何もしなければ、何も変わらない」。石川テレビのクルーは市井からの眼差しにローカルメディアの存在意義を重ねながら、情性と忖度蔓延る役場と町議会の関係の歪さを浮き彫りにしていく。

2024年1月1日、 能登半島地震が発生した。

カメラは思わぬ事態に見舞われた町と人びとの営みをつぶさに見つめる。そして、同年5月に放送されたテレビ版が、穴水に大きな風穴を開けた。「このままでは町がなくなる」。声を寄せ、届け、耳を傾ける。映画は確かな変化の芽吹きを映し出していくのだが。

監督は石川テレビの五百旗頭幸男。『はりぼて』では富山市議会の不正を暴き、市議が次々とドミノ辞职。ムラ社会の父権的な空気をあぶり出した『裸のムラ』は、映画公開後に馳浩石川県知事の定例会見拒否問題にまで発展した。映画の終盤、ここぞとばかりに、まことしやかに囁かれる穴水町最大の「タブー」に斬り込んでいく五百旗頭。投げかけた言葉に込めた思いとは。

この町で、この国で、果たして
民主主義は生き残れるのか。
一縷の望みに賭ける穴水からの
ラブレター！



notodemocracy.jp

@noto_democracy

@tofoo_films



5.17 土曜 公開

東京

中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル地下
ポレポレ東中野

03-3371-0088

5.17 土曜 公開

大阪

大阪市淀川区十三本町1-7-27 サンボードシティ6F
第七藝術劇場

06-6302-2073

5.24 土曜 公開

石川

金沢市香林坊2-1-1 クラソ・ブレイス香林坊4F
シネモンド

076-220-5007

ほか全国順次公開!!
最新情報は公式HPまで

